



広報

すみだ

2015

12

No675



12/5 有住保育園「生活発表会」

園児たちが踊りや劇、楽器の演奏などを通じて、集まった保護者らに一段と成長した姿を見せました。このうち、ひよこ組はどんぐりマンのダンスを元気いっぱい披露。小さい体を精一杯動かして踊る可愛い姿に、会場から大きな拍手が送られていました。

12月の主な内容

- P2 町総合戦略策定に係る意見交換会
- P4 平成27年度町勢功労者表彰
- P5 ヤマト運輸㈱と2つの協定を締結
- P6 「未来かなえネット」が運用を開始
- P7 マイナンバー詐欺に関する注意喚起
- P8 まちの話題『SUMITA うおっちゃんぐ』

各地区の様子を ご紹介します

町総合戦略の実現にあたり、大事なのは町民の皆さんと行政が一緒になり、目標達成に向けて力を合わせて取り組むことです。

「今さら自分たちで何かやっても意味がない…」
いえいえ、私たちだからこそ、今の時代だからこそ、輝くものや誇るべきものがきっと見つかるはずですよ。

今こそ、住田の将来をともに考え、夢を持って、住田町をともに盛り上げていきましょう！

12/15 五葉地区（参加者22人）

五葉山や川を中心とする素晴らしい景観や、車を所有している人にとっては周囲の市町村へ同じ距離で行けるアクセスの利便性の良さなど、田舎への移住や生活を体験してみたい人にとっては魅力あふれる地域。

現在、交流のある町外の人たちとのつながりを大事にしながら、イワナのつかみ取りや古民家への民泊など、田舎を売りにした体験などを展開することで、魅力的な地域づくりにつながっていくのではないかと考えています。



12/17 上有住地区（参加者41人）

車があれば不便さを感じないので、仕事は町外でも、住むのは住田という雇用のあり方も一つ。また、地域の賑わいに若い人たちの力を加えていくため、まずは同年代で声を掛け合いながら集まる工夫などをして、青年の活動を活発化させないといけないと思う。

自分たちの地域のことをみんなで考えなければいけないが、まずは地域住民同士でお酒などを交えながら語り合い、地域づくりへの思いを共有していきたい。



12/14 大股地区（参加者15人）

地域活動をサポートしてくれる事務局があれば、「大股神楽」という素晴らしい伝統芸能を活用した“神楽の里”づくり、炭や薪など昔から伝わるものを活かしたコミュニティビジネスなど、地域でやりたいと思っていた活動を展開できる可能性がある。

また、震災後、内陸や沿岸部への行きやすさから支援基地が設置されたように、地の利を使い企業と連携することで、雇用の場の確保につなげていけるのではないかと考えています。



12/16 下有住地区（参加者40人）

下有住地区をはじめ、町民の人柄の良さは大きな魅力。以前のように自治活動を盛んにし、まずは自分たちが楽しむ姿を見せていくことが地域づくりにつながるはず。住民が元気に楽しんで暮らしている場所こそ魅力ある地域であり、移住希望者へのアピールにもなる。外からの意見に頼るばかりでなく、ま

ずは中に住む自分たちが何とかするという意識に変えていくことが重要。人を磨くことこそ、最高の地域磨きだと思っています。



12/18 世田米地区（参加者37人）

豊かな自然、美味しい米と水、ふれあい公園、保育料無料化など子育て環境は充実している。住民交流拠点施設もできるので、もっと積極的な発信が必要。また、ベッドタウンやスモールオフィス群に適していると思うので、住居環境を整備するなど移住対策に力を入れていくべき。町内の若い世代が外に出たいという思いはあっても当然。いかにして故郷に戻ってきたいと思える町づくりを進めていくかが大事だと思う。



地区住民との意見交換会レポート

「こうしたいな」私たちのまちと地域

町では、12月14日から18日の5日間、大股、五葉、下有住、上有住、世田米の5地区で「総合戦略策定のための町民の皆さんとの意見交換会」を開催しました。町民の皆さんからいただいた、地域の魅力ある将来像を描いていくための意見やアイデアは、町人口ビジョンと総合戦略の施策の方向性に反映させながら計画策定に生かしていきます。

本年度、町では国が施行した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、町民所得の向上と人口減少対策に取り組んでいくため、町人口ビジョンと町総合戦略の策定を進めています。

策定に向けては、本年5月に有識者や町民らを委員とする総合戦略推進委員会を組織し、これまでにワークショップを含め5回の検討を重ねているほか、6月には15歳以上50歳未満の町民全員を対象に、将来の町づくりに対するアンケート調査（広報すみた7月号参照）を実施しています。

今回、町では計画策定のプロセスに多くの町民に関わってもらいながら、町民と行政が一体となった計画を作り上げていくことを目的に、町内5地区での意見交換会を行いました。

このうち、初日の大股地区の意見交換会には地区住民ら15人が出席。町からは多田町長ら7人が出席しました。

はじめに多田町長が「地域の将来デザインをみんなで作っていただくため、たくさんの方の意見をいただきたい」とあいさつ。担当課による本町の現状説明後、出席者からの意見を求めました。

出席者からは、「アクセスの良さを生かした取り組みを」「小、中学生と一緒に交流できる場を」「贅沢でなくても家族で一緒に地域で暮らすことの幸せを子どもたちに感じてほしい」など、将来を見据えた幅広い意見が寄せられていました。

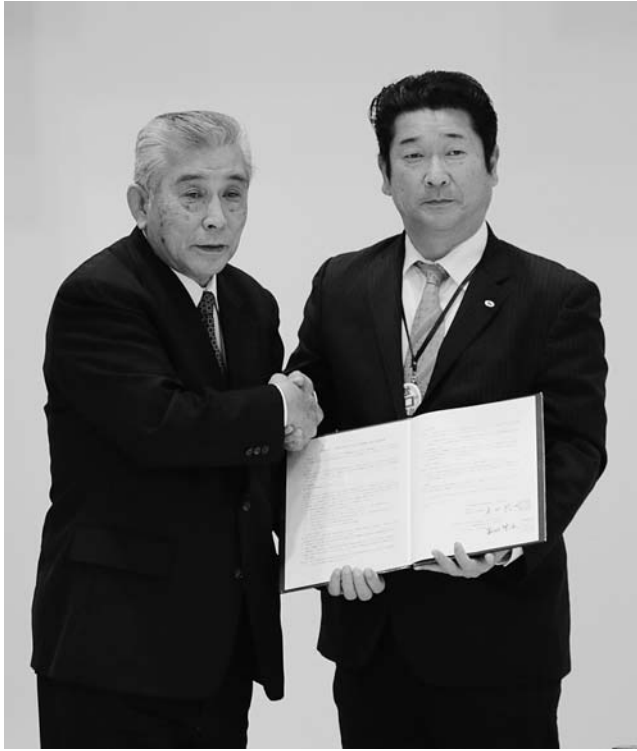
なお、各地区で出された意見の内容は次頁で紹介いたします。

木工団地の現状について 多田町長が直接説明

今回の意見交換会で、多田町長が木工2団地（三陸木材高次加工協同組合、協同組合さんりくランバー）の現状について、各地区で説明を行いました。

多田町長は木工2団地について、順調に売上が推移していた中で今年初めの木材不況が影響し、町への償還金が未納となってしまうこと、10月からすでに新たな体制で動き出していることなどを説明しました。

さらに、「現在は新たな体制の下、売れるものに絞ってやっていくということ、成果を上げている段階。今後の見通しが出るのが3月から6カ月後だが、木工団地側より「必ず立て直す」という力強い言葉もいただいているので、推移を見ていきたい。時期を見て、あらためて説明の場はもちたいと思う。木工団地は今、必死に頑張っている。皆さんもぜひ応援してあげてほしい」と、町民からの理解と協力をお願いしました。



「今後訪れる高齢化社会に対応すべく、また、万が一の災害時でも円滑に物資輸送を行うため、最大の武器である物流のネットワークを生かし、町民の皆さんが10年、20年先も安心して暮らしていけるよう、最大限の努力を惜しまずお手伝いをしていきたい」と、決意を述べました。

また、「地域において支援を必要とするものの把握等に関する協定」は、同社の平常業務時、郵便受けや洗濯物の状況、対象者の生活の様子などを見守りながら、緊急時には救急車の手配や警察への連絡まで行うもので、高齢者が多い本町において大きな効果を発揮するもの。県内では17件目の締結となります。



●ヤマト運輸株式会社（東京都中央区）
日本全国において、「宅急便」をはじめとする各種輸送事業を大規模に展開しているほか、さまざまな社会貢献活動も行っています。活動の一つが、高齢化や過疎化などの社会問題に対応するために岩手主管支店が開始した「まごころ宅急便」です。過疎地の高齢者などを対象に、カタログで注文した商品をスーパーなどから自宅に届けるというもので、利用者の体調なども聞く見守りの役目も担っています。県内では、被災地である大槌町などで活動が行われています。

物流ネットワークを活用

12月16日、本町とヤマト運輸(株)岩手主管支店による「災害時における物資の緊急輸送及び物資拠点の運営等に関する協定」および、「地域において支援を必要とするものの把握等に関する協定」の調印式が、役場

町民ホールで行われました。調印式には、ヤマト運輸(株)岩手主管支店から富田芳正主管支店長ら5人、町から多田町長ら5人が出席。

協定締結までの経緯や出席者の紹介などに続き、富田主管支店長、多田町長がそれぞれ協定書にサインし、協定締結を祝う固い握手を

交わしました。

調印を終え、多田町長は「いつ、どこで災害が起きるか分からない中で、御社のノウハウでいち早く支援をいただけることは大変力強い。加えて、御社による社会貢献の一環として、平時から支援を必要とする人たちの把握もしていただけ

地域内の見守りも実現

「災害時における物資の緊急輸送及び物資拠点の運営等に関する協定」は、災害発生時に避難所などへの迅速な物資の緊急輸送や、行政に代わり物資拠点を運営することが可能になり、災害時の避難者および被災者支援に大きな役割を果たすことが期待されます。県内では16件目の締結になります。

締結

「地域の見守りと災害時の支援に大きな期待」

ヤマト運輸(株)と二つの協定を締結



永年にわたる多大な功績に心からの感謝を込めて

平成27年度町勢功労者表彰

◎自治功労

荒木 久一 さん
(76歳・和山)

平成7年9月、町議会議員に当選以来、5期20年間の永きにわたり、町政に参画し、監査委員、副議長などを歴任され、町勢発展に多大な貢献をされました。

特に、平成19年10月からの4年間は、議長として議会運営に尽力をされました。

◎消防功労

紺野 博 さん
(67歳・中沢)

昭和47年4月、町消防団に入団以来、43年間の永きにわたり、消防活動を通じて、町民の生命と財産を守るために多大な貢献をされました。

特に、平成17年度からの8年間は副団長、平成25年度からの2年間は団長として、団の発展に尽力をされました。

◎寄附功労

田利 清信 さん
(79歳・東京都清瀬市)

多額の私財を寄付し、本町の町づくりの推進、震災復興支援に多大な貢献をされました。

◎町功績者感謝状贈呈

小泉 きく子 さん (64歳・百合ヶ沢)

平成19年4月に副町長に就任し、以来8年の永きにわたり、住民福祉の向上や産業振興など、町政全般について指導力を発揮し、町勢発展に多大な貢献をされました。

◎町功績者感謝状贈呈

佐々木 義夫 さん (76歳・山脈地)

平成14年4月に町林野保護員に就任し、以来13年の永きにわたり、町有林の適正な管理と森林保全に努め、町有財産の保護と育成に多大な貢献をされました。

「未来かなえネット」が運用を開始

気仙地域には2つの県立病院を軸に、約70の医科・歯科のクリニックや調剤薬局、100を超える介護サービス事業所があり、地域の高齢者や患者を支えています。しかし近年、医療・介護の専門職員が慢性的に不足しており、住民や医療介護関係者の深刻な課題となっています。この課題を、ICT（情報通信ネットワーク）で解決しようとする開発が進められているのが「未来かなえネット」です。平成28年4月からのシステム運用開始に先立ち、平成27年12月から住民の参加申込みが始まります。



28年度は気仙管内の一部機関・施設で運用を開始します
29年度から希望する全機関・施設が参加可能になります

専門職の負担軽減と効率的な治療を実現

「未来かなえネット」の開発にあたり、2市1町の医療・介護関係機関や行政などが、3年間にわたり勉強会などを重ねてきました。「全国でも最先端」の取り組みと評価される「未来かなえネット」が平成28年4月から運用を開始します。私たちが医療や介護が必要になったとき、医師や介護職員をはじめとする専門職員が全力で支えてくれます。

「未来かなえネット」に多くの方が参加することで、病院や介護施設などに携わる専門職員間に円滑な連携が生まれます。これにより、

「未来かなえネット」で期待される効果

他の診療所などでの治療や薬の状況を説明したり、聞いたりする手間が減ります。	自分の病気・薬・体質がシステムで共有されるため、万が一のときにも安心です。
施設を変わるたび同じ検査を繰り返したり、薬が重複することが少なくなります。	万が一の災害の際にも情報の保存ができ、治療・介護の継続をしやすいです。
健康・医療・介護の情報が共有され、いつもの診療所での治療も継続しやすくなります。	病気や飲んでいる薬が分からないために治療や介護が滞ってしまう事態を防ぎます。

システム運用に向けた利用者の登録を開始

「未来かなえネット」の運用には、多くの住民の利用が必要となります。システムの運用開始に先立ち、平成27年12月から登録の受付が始まりました。登録・利用料は無料で、加入・脱退はいつでも自由に行うことができます。家族全員を登録することも可能です。

★問い合わせ
 (一社) 未来かなえ機構
 ☎ 22-7261
 メール: mirai-kanai@rondo.o
 c.n.e.jp
 ホームページ: http://kanaenet.com

マイナンバー詐欺に注意してください!

マイナンバー制度に便乗した不正な勧誘や個人情報の取得を行おうとする電話やメール、手紙などが送られてくる事例が全国で発生しています。本町でも、マイナンバー詐欺に関する情報が寄せられています。平成28年1月からは、マイナンバーを利用する事務での番号の確認などが義務付けられ、町民の皆さんもマイナンバーを提示する機会が増えてきます。ご自身のマイナンバーはしっかりと管理をしてください。

◆こんなケースに遭遇したら要注意!

- ・マイナンバーの通知や利用手続きなどで、国や自治体の職員が、口座番号や暗証番号、資産、家族構成、年金・保険の情報を聞いたり、お金やキャッシュカードを要求することはありません。
- ・マイナンバーの管理の難しさなどを過度に誇張した商品販売や、不正な勧誘に注意してください。
- ・不審な電話はすぐ切り、訪問の申し出があっても断ってください。また、不審なメールについても安易に開封せず、無視してください。
- ・マイナンバーに関連した「なりすまし」の郵送物に注意してください。配達員を装う人物から代金を請求されても、決して支払わないでください。
- ・「マイナンバーを貸してほしい」といった依頼は詐欺の手口です。なお、この手口のように不正な提供依頼を受け、誤って他人にマイナンバーを教えた場合、刑事責任を問われることはありません。



◆マイナンバーの受け取りおよび利用手続きに関するお知らせ

①マイナンバー通知カードが届いていない方は町民生活課にご連絡を!

各世帯へのマイナンバー通知カードは、平成27年10月5日時点の住民票の住所に簡易書留で送付中ですが、**ご家族による受け取りができなかった世帯などの通知カードは役場町民生活課で保管しています。**この保管分の通知カードについては、**町民生活課での手渡し**となりますので、現時点で通知カードがまだ届いていない方については、まずは一度、町民生活課戸籍係（☎46-2113（内線113））までお問い合わせください。

②1月からマイナンバーを利用する手続きでの本人確認が義務付けられます

平成28年1月1日以降、役場などでのマイナンバーを利用する事務については、手続きの際に対象者の**「本人確認」**と**「番号の確認」**を行うとともに、書類への**「番号の記入」**が必要となります。手続きの際は、通知カードなど**「番号の確認」**ができるものと、運転免許証など**「身元確認」**ができるものを提示してください。なお、代理人が手続きする場合、**「本人の番号確認」**と**「代理人の身元確認」**に合わせ、**「委任状」**（任意代理人の場合。法定代理人の場合は**「戸籍謄本」**）の提出が必要となります。



▲社協職員らも参加し会場を沸かせた「水しぎ」

12月6日、「平成27年度住田町歳末たすけあい芸能祭」が農林会館で開催されました。
この芸能祭は、歌や踊りを楽しみながら、町民が一体となって歳末たすけあい共同募金に協力することを目的に、実行委員会（松田久義委員長）主催で、毎年開催されているものです。
開演に先立ち松田委員長と町社会福祉協議会の佐々木松久会長が、「出演団体に声援を送りながら、今日一日を楽しんでほしい」と、それぞれあいさつをしました。

歌や踊りを通じて広がる支えあいの心
「歳末たすけあい芸能祭」が開演



▲子どもたちの熱演が光った「劇団OPA」

この日は、特別出演の2組を含む22団体が出演。歌や踊りをはじめ、楽器の演奏や地域の伝統行事など、多彩な演目が展開され、来場者らの目を楽しませていました。
このうち特別出演では、平成24年2月に結成した大船渡市の劇団OPA（おおふなど）パフォーミングアーティスト）が歌とダンスを披露。子どもを中心とする劇団のメンバーが、ミュージカル調での迫力あるステージを繰り広げると、来場者から大きな拍手が送られていました。
なお、この日の益金は22万2000円に上り、その全額が共同募金にすでに寄付されています。



▲文部科学大臣賞受賞を生徒や保護者らと祝福

このほど、世田米中学校（松高正俊校長）が、木工作品を通じたものづくりの実践的な技術向上を図る教育活動が評価され、第6回ものづくり日本大賞で文部科学大臣賞を受賞しました。
ものづくり日本大賞は、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた各世代の人材のうち、特に優秀と認められた個人・団体を表彰するもので、平成17年度の創設以来、2年に一度開催。経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携して行っているものです。

木を活用した教育が高い評価につながる
世田米中が文部科学大臣賞を受賞



▲特設木工部の活動なども評価されました

今回、世田米中が選ばれたのは、ものづくり人材育成に特に優秀な功績を収めた学校をたたえる「ものづくりの将来を担う高度な技術・技能」分野の青少年支援部門で、中学校としての受賞は史上2校目となります。
松高校長は、「これまでの取り組みが評価されたということで、地域にとつて本当に良かった。今回の受賞は、地域の方々をはじめ、町や教育委員会、先輩方などからの支援があつてのことであり、本校だけではなく、地域全体として受賞したのも」と、話していました。

この日は、特別出演の2組を含む22団体が出演。歌や踊りをはじめ、楽器の演奏や地域の伝統行事など、多彩な演目が展開され、来場者らの目を楽しませていました。
このうち特別出演では、平成24年2月に結成した大船渡市の劇団OPA（おおふなど）パフォーミングアーティスト）が歌とダンスを披露。子どもを中心とする劇団のメンバーが、ミュージカル調での迫力あるステージを繰り広げると、来場者から大きな拍手が送られていました。
なお、この日の益金は22万2000円に上り、その全額が共同募金にすでに寄付されています。

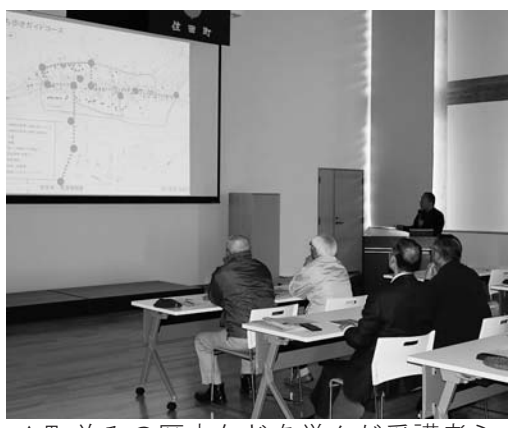
一足早い聖夜のイベント
第2回メリークリスマスタ



▲会場は華やかな雰囲気になりました

12月13日、役場交流プラザを会場にコンサートイベント「第2回メリークリスマスタ」が開催されました。
イベントでは、住民活動団体らによる大正琴やクリスマスソング披露のほか、オリジナルしおりや木々の葉っぱを材料にしたクリスマスメッセージの貼り絵作りといった子どもワークショップなど、さまざまな催しが展開されました。
このほか、特別ゲストとして登場したバイオリニストの戸島さや野さんの演奏や、写真家の新井卓さんの銀板写真の展示などが華を添えたこの日、子どもから親子連れまで、会場を訪れた多くの人が一足早いクリスマスイベントを心ゆくまで満喫していました。

案内時の台本を確認
まち歩きガイド養成講座



▲町並みの歴史などを学んだ受講者ら

12月10日、「第2回まち歩きガイド養成講座」が役場町民ホールで開かれ、町民ら15人が受講しました。
この講座は、住民交流拠点施設のオープンに合わせ導入を検討しているガイド役の育成を目的に、全5回を予定し先月から開講。今回が2回目の開催となります。

「台本を確認しよう」と題して行われたこの日、講師を務めた(有)盛岡設計同人の渡辺敏男代表が、ガイドコースの提案や案内時に紹介してもらいたい住田の歴史や産業などを、スライドを使い説明しました。
渡辺代表は受講者に対し、「覚えた情報は、毎回全て伝えるのではなく、相手に合わせ、抽出して紹介するのが効果的」と助言していました。



▲英語も交え研修への決意を語る4人

「がんばってきますー!」
中学生海外派遣結団式

12月17日、本年度の中学生海外派遣事業（1月5日（火）〜13日（水））に参加する4人の生徒の結団式が、役場町民ホールで行われました。
国際的な人材育成につなげようと昨年から展開する本事業。今回は、世田米中2年の佐藤創太さん、吉田夏希さん、有住中2年の紺野憧和さん、熊谷真梨子さんが参加します。
結団式には、両校の関係者をはじめ、生徒の保護者や町関係者など、約23人が参加。多田町長や菊池教育長らが激励の言葉を送りました。
4人は、研修先で住田を紹介するためのスライドを英語で発表しながら、「研修に関わる全ての人に感謝しながら、充実した日々になるよう頑張りたい」と決意を述べていました。



▲見事優勝の中沢地区の選手の皆さん

成人バレー決勝大会
中沢地区が2年ぶりのV

11月29日、生涯スポーツセンターで成人バレーボールナイターリーグの決勝大会が行われました。
10月から始まった予選リーグの上位8チームが進める同大会には、中沢、東峰、月山、火の土、坂本恵山、愛宕、下在、川口が出場しました。
決勝戦は、昨年の優勝チームで予選2位の川口と、予選から決勝まで全勝で勝ち上がった1位の中沢の対戦となりました。試合は、実力伯仲の両チームによる点の取り合いで、フルセットまでもつれる熱戦となりましたが、王座奪還に燃える中沢が意地を見せ、2-1で勝利。見事、一つも星を落とさない完全優勝で頂点を極めました。



すみなママナビ通信

生涯学習に関する情報コーナー 住田町教育委員会

被災地の子ども育成に大きな貢献

町子ども会育成会が表彰されました

このたび、町子ども会育成会連絡協議会(町子育連・千葉亭会長)が、これまでの被災地支援活動などが評価され、県子ども会育成連合会創立40周年記念式典において表彰されました。



もともとこの活動は、震災後、仮設住宅の設置などで被災地の子どもたちが十分に体を動かすことができないう状態だったことから、平成23年に「すみた森の案内人の会」が日本財団の助成を受け、子どもたちを種山に招待し、散策したり走り回ったり、住田の自然を満喫してもらおう事業を実施したのがきっかけでした。このことが好評で、今後も続けてほしいという声が多かったことから、平成24年度以降は町子育連が主体となり、同連合会からの助成を受けながら活動を継続。本年度も高田小学校、猪川小学校、大船渡小学校、広田保育園の子どもたちを種山ヶ原に招待しています。なお町子育連では、表彰を励みに今後も活動を継続していききたいとのことです。

議会

12月議会定例会

12月定例会が12月8日から12日までの4日間の会期で開かれ、東京電力(株)原子力発電所事故による損害賠償請求の和解案が可決されたほか、補正予算などが審議されました。

議決

▼住田町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例を可決

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、町の行政事務における個人番号及び特定個人情報利用範囲などについて定めました。

▼損害賠償請求の和解についての議案を可決

東京電力株式会社原子力発電所事故による損害賠償請求について、次のとおり和解することとしました。

○相手方

東京電力株式会社
(東京都千代田区)

○事案内容

平成23年3月11日に発生した同社発電所事故に起因

請願

▼PPP交渉の情報公開とTPPからの撤退・調印中止を求める請願を継続審査

補正予算

平成27年度一般会計、特別会計の補正予算の議案を下表のとおり可決しました。

平成27年度補正予算

会計別	補正額	補正後予算額
一般会計(第3号)	4,388万1千円	52億1,585万8千円
特別会計		
国民健康保険(第2号)	※ -円	9億8,937万6千円
簡易水道事業(第2号)	88万5千円	1億7,434万3千円
介護保険(第3号)	176万4千円	8億9,985万2千円
保険事業		
介護サービス事業	△250万5千円	269万4千円

※増額分(794万6千円)を歳出予算内で調整したため、全体額の増減は無し。



平成27年度文化財史跡めぐり

参加者を募集します

今回、実に17年ぶりの県内開催となる、貴重な巡回展示「発掘された日本列島2015」が行われます。

町教育委員会では、「文化財史跡めぐり」としてこの展示の見学会を行います。学芸員による解説付きで見学できる絶好の機会ですので、皆さんの参加をお待ちしています。

【日時】平成28年2月9日(火)

9時から17時まで
※役場集合となります。

【場所】岩手県立博物館(盛岡市)

【対象】どなたでも参加できます。

【定員】30名(先着順)

【申し込み期限】2月1日(月)まで

【参加費用】1200円(入館料・昼食代として当日徴収)

★申込み・問い合わせ
教育委員会生涯学習係

☎46・3863
(内線254)

結婚支援情報

ホットな出会いの交流会を開催します

「ホットな出会いの交流会」実行委員会では、結婚を希望する单身男女を対象に、出会いの交流会を開催します。

【日時】平成28年1月31日(日) 9時出発

【開催場所】遠野市内で開催します。

【対象】詳しい場所などは参加者のみお知らせします。

【参加費】概ね30歳〜5歳の男女各10人
①応募多数の場合は、主催者側で抽選をします。

②参加者が男女各5名に満たない場合は中止します。

【参加費】男女とも2000円(昼食代・交通費として)

【内容】男女ペアになったの交流、参加者同士でのトークタイムなど

新着図書紹介

(中央公民館図書室)

■書名 別冊 図書館戦争II
■編集 有川浩



タイムマシンがあったら大学生の頃に戻りたいという、図書館の緒方。本を守る良化委員を辞め、本を守り、自由を主張する図書館に入ったのか? 笠原と堂上、柴崎と手塚。隊員たちのその後を綴る、シリーズ第二弾! (一般向け)

■書名 学研まんがNEW日本の歴史5
■総監修 大石 学



学研まんがNEWシリーズ第5巻。室町幕府の武士と民衆たちの激動の時代が、フルカラーの漫画で描かれている。戦につき進むその時代、時の為政者たちは何を思い、どう動き、何を理想として戦い抜いたのか? (児童向け)



【申込方法】

①住所、②氏名、③性別、④年齢、⑤職業(勤務先)、⑥電話番号、⑦趣味を記載の上、電話・メール・封書のいずれかで申し込みください。

【申込期限】平成28年1月12日(火) 正午まで

【申し込み・問い合わせ】ホットな出会いの交流会 実行委員会事務局(役場企画財政課内)

☎46・2114

内線(227)

※郵送での申し込み先

〒029-2396

住田町世田米字川向88-

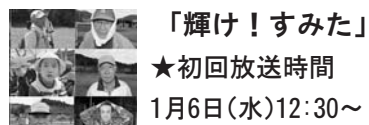
1 あて

※メールでの申し込み先

happiness@town.sumita.iwate.jp



1月の放送プログラムのお知らせ



「輝け！すみた」

★初回放送時間

1月6日(水)12:30～

※その他の放送日、時間は電子番組表をご覧ください。

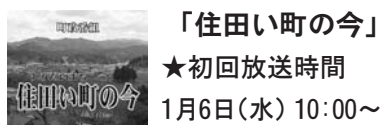
★「一般社団法人

SUMICAにスポット」

・地域を盛り上げるため、各種活動を展開する住民活動団体をご紹介します。

※「電子番組表」の使用方法について

住田テレビの番組表を見たい時は、テレビのリモコンの「番組表(EPG)」ボタンを押してください。放送時間などが確認できます。



「住田町の今」

★初回放送時間

1月6日(水)10:00～

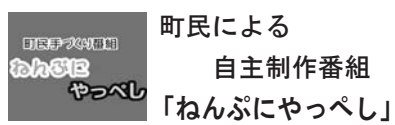
※その他の放送日、時間は電子番組表をご覧ください。

★「未来かなえネットについて」

・気仙2市1町が連携して取り組む、平成28年4月から運用開始となる医療・介護システムについてご紹介します。

★問い合わせ

住田テレビ ☎47-3112



町民による

自主制作番組

「ねんぷにやっべし」

★初回放送時間

1月6日(水)15:00～

※以降、毎日15:00～と19:30～に放送します(土曜日のみ15:00～の放送はありません)。

★「ふるさとを応援している

埼玉県在住 菊池 行孝さん

(世田米出身)」を特別企画としてお届けします。

※年末年始は特別放送プログラムでお楽しみください



すみたホットライン
年末企画番組
「住田の2015」

★初回放送時間

12月30日(水)6:00～

※以降、31日(木)まで、「すみたホットライン」の放送時間帯での放送となります。

★さまざまな出来事があった2015年。住田町にとって、この1年はどんな年だったのでしょうか？住田テレビの松田アナウンサーと多田町長が対談をしながら、「住田の2015」を振り返ります。



町民の皆様へ
「町長・町議会議員
新年のごあいさつ」

★初回放送時間

1月1日(金)15:00～

※以降、2日(土)まで、「すみたホットライン」の放送時間帯での放送となります。

★地方創生への取り組みがさらに本格化を迎える2016年。行政と住民が一体となったまちづくりへ。多田町長、菊池町議会議員より、町民の皆様へ新年のごあいさつを申し上げます。



世田米・有住保育園
「平成27年度
生活発表会」

★初回放送時間

1月1日(金)

①世田米保育園 13:00～

②有住保育園 15:00～

※以降の放送予定時間は、電子番組表(EPG)でご確認ください。

★先日行われた世田米・有住両保育園の生活発表会。園児たちの可愛らしい歌や踊りを、ご家族揃ってお楽しみください。

○保育料表 ※平成28年4月1日時点の満年齢を基準。

階層区分	徴収基準額(月額)	
	満3歳児未満	満3歳児以上
第1階層	生活保護世帯 0円	
第2階層	町民税非課税世帯 7,000円	
第3階層	町民税 ※8月以前は平成27年度分、9月以降は平成28年度分 所得割額	48,600円未満 10,500円
第4階層		97,000円未満 14,000円
第5階層		169,000円未満 21,000円
第6階層		301,000円未満 28,000円
第7階層		397,000円未満 30,500円
第8階層		397,000円以上 33,000円

※ひとり親世帯や障がい者のいる世帯で第2階層に認定された場合は、保育料は徴収しません。また、同様の世帯で第3階層に認定された場合は、上記基準額から1,000円軽減されます。
※同時入所に関わらず、第2子は半額、第3子以降は無料となります。

平成28年度の保育所への入所者を募集します。入所を希望される方は、次のとおり申込書などを提出してください。

平成28年度 保育所入所者募集について

- ▽入所基準(満3歳児未満) 児童の保護者、同居の家族のいずれもが次の事情により児童を保育することができない場合
 - ①就労(家庭内・外)
 - ②母親の妊娠・出産
 - ③疾病・障がい
 - ④病人の看護
 - ⑤家庭の災害
 - ⑥就学・求職・職業訓練
 - ⑦虐待・DV
 - ⑧育児休業 など
- ※平成22年4月2日～平成25年4月1日生まれの子どもは、保護者の就労状況にかかわらず、全員入所可能です。
- ▽必要書類
 - 支給認定申請書兼保育所入所申込書、保育に欠ける状況が確認できる書類(就労証明書など)、同意書(平

- 成25年4月2日以降に生まれた児童のみ)
 - ▽申込期限 平成28年1月22日(金)
 - ▽申込書の交付・提出先 教育委員会学校教育係 各保育園(世田米・有住)
 - ▽一時保育 保護者の就労形態や保護者の傷病などにより一時的緊急的に保育を要する場合には、一時的保育サービスが利用できます。
 - 申し込みは各保育園で随時受け付けています。
 - ▽その他 現在、子どもが保育所に入所の方も、書類の提出が必要となります。
 - また、現在入所中の保育所以外へ入所を希望される方も、申し込みが必要ですが、町外の保育所へ入所を希望される方は、お早めに町教育委員会へお問い合わせください。
- ★問い合わせ 教育委員会学校教育係 世田米保育園 ☎46-3863 有住保育園 ☎48-2704

きこえと補聴器の相談

実施日 1月27日(水)・2月24日(水)

時間 10:00～12:00 住田町農林会館
14:00～15:00 八日町集会所

相談内容 ●聴力測定による医療機関及び行政への申請指導 ●補聴器の定期点検、無料試聴貸し出し

認定補聴器専門店

大船渡店：大船渡市盛町字町10-17

岩手リオン ☎0192-21-1252

補聴器センター URL http://www.iwaterion.co.jp

出光興産株式会社特約店

(有)横澤儀商店

プロパンガス・ガソリン・軽油・灯油

世田米字川向34-3 ☎46-2483

民間車検工場
学校生協指定整備工場・自動車販売

(有)遠藤モータース

住田町世田米字大崎25-10
☎46-2128 ☎46-2139 (FAX 共通)

わんだい

上代医院

医院長 安井 豊

住田町世田米字大崎32-3
☎46-3125 (FAX 共通)

■「認知症研修会」の開催について

町では、保健・医療・福祉従事者間の連携を推進するため、毎年、合同研修会を開催しています。本年度は、近年関心が高まっている「認知症」をテーマに開催します。どなたでも参加いただけますので、お気軽にお申し込みください。

■日時・場所

1月20日(水) 14:00~16:00 農林会館多目的ホール

■内容・講師

「近年の認知症を取り巻く現状」
医療法人 館 この神経内科・脳神経内科クリニック
院長 紺野 敏昭 氏

■申し込み期限

1月18日(月)までにお申し込みください。

★申し込み・問い合わせ 町地域包括支援センター ☎46-2424



岩手県男性不妊治療費助成金のご案内

県では、医療保険が適用されない男性不妊治療を、平成27年4月以降に受けた夫婦に対し、治療費の一部を助成します。申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

★助成対象の条件

- 夫婦またはいずれか一方が県内に居住していること。
- 以下の男性不妊治療が必要であると医師に診断されたこと。
 - ①T E S E (精巣内精子生検採取法)
 - ②M E S A (精巣上体内精子吸引採取法)
- 夫婦の前年の所得合計額が、730万円未満であること。

★申請期限

治療終了後3カ月以内
※平成27年4月1日から10月12日までに治療が終了した方は、平成28年1月13日(木)までに申請してください。

★問い合わせ

大船渡保健所 ☎27-9913

「地球のステージ」公演の開催

世界で起きているさまざまな出来事を、音楽と大画面のライドに映し出し、語りと曲で構成するステージです。

子どもから大人まで楽しめる内容となっていますので、ぜひ足をお運びください。

★日時

1月30日(土)
13:30開場、14時開演

★会場

陸前高田市コミュニティホール

★講師

NPO法人地球のステージ
代表理事 桑山 紀彦 氏

★入場料

無料 ※ただし、入場整理券が必要となります。

★整理券配布先

住田町役場、上有住地区公民館で、1人につき2枚まで配布。
※無くなり次第終了となります。

★問い合わせ

気仙広域連合広域振興課
☎27-3111 内線(216)

放送大学 4月生募集のお知らせ

放送大学はテレビやインターネットを利用して授業を行う通信制大学です。

現在、平成28年4月入学生を募集しています。

★大学説明会の開催

日時：2月21日(土)
10:30~12:00

会場：奥州市文化会館Zホール
(奥州市水沢区佐倉河)

★オープンキャンパスの開催

日時：2月6日(土)、7日(日)、17日(水)、18日(木)、19日(金)、3月6日(日)
各日とも10:30~11:30

会場：放送大学岩手学習センター
(盛岡市上田(岩手大学構内))

★出願期間

第1回：2月29日(月)まで
第2回：3月1日(火)~
3月20日(日)まで
※インターネットでの出願も受け付けています。

★問い合わせ

放送大学岩手学習センター
☎019-653-7414

国民年金などに関する社会事務相談(1月分)

一関年金事務所では、社会事務相談会を以下のとおり開催します。予約制となりますので、相談を希望する方は相談を希望する日の前日までに一関年金事務所(☎0191-23-4246)までお申込みください。

会場	開催日	開催時間
陸前高田市役所	21日(木)	10:30~15:30
大船渡商工会議所	28日(木)	10:30~15:30

年未年始期間中のごみ収集のお知らせ

期日	燃えるごみ	燃えないごみ
12月30日(水)	通常どおり収集	収集地域なし
12月31日(木)	休 み	休 み
1月1日(金)		
1月2日(土)		
1月3日(日)	通常どおり収集	通常どおり収集
1月4日(月)	通常どおり収集	通常どおり収集

★持ち込みごみの受け付け

年内は、12月30日(水)までとなります。年明けは、1月4日(月)から、通常どおり持ち込みできます。

★問い合わせ

大船渡地区環境衛生組合 ☎26-4739

済生会陸前高田診療所から診療内容のお知らせ

済生会陸前高田診療所では、以下のとおり診療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~11:00	●	●	●	●	●	●	休
13:00~16:00	●	●	休	●	●	休	休

○診療科：内科、整形外科 ※整形外科は金曜日のみ診療。

○年未年始の休診期間：12月29日(火)~1月3日(日)まで

★問い合わせ 済生会陸前高田診療所 ☎22-7515

(竹駒町字滝の里1(薬王堂滝の里店となり))

工事などの入札結果をお知らせします

工事・業務名	契約年月日	契約額	契約業者
合地沢橋補修工事	27年11月26日	15,336,000円	(有)山崎工業
旧上有住小学校教員住宅解体工事	27年12月1日	1,836,000円	(株)齊藤工業

住田のすまいる

住田住宅産業(株) ☎46-2465

岩手県住田町産 ありすぽーく 生産農場

有ありす畜産

TEL0192(48)2019

R107 ありす畜産直売所 TEL0192(46)2286

相続、売買による不動産の名義変更 担保権の抹消・不動産登記

有岡司法書士事務所 司法書士 有岡 智昭

登記に関する相談はいつでもお受けします。電話で予約をお願いします。(土日可)

☎0192-47-4578

世田米字世田米駅113(クロネコヤマトさん向かい)

省エネ家電のことなら当店へ。お気軽にご相談ください。

クマガイ電化サービス

住田町上有住字八日町82

☎48-2255 携帯 090-2845-1444

お祝いお悔やみ

11月届出分 (敬称略)

お誕生おめでとう

住所	子の名前	性別	親の名前
川向菅原	百華	女	未穂
田畑野呂	佳汰	男	晃彦=有希
中村吉田	礼音	男	大樹=千夏
二度成木相馬	遼	男	徹=恵美

お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
世田米駅	佐々木 昌一	85	本人
火石工藤	ゆり子	78	本人
窪田菅野	マツ子	90	義光
川向大村	タケ	98	亀治
向川口吉田	三男	76	タチ子
天風高橋	ハツノ	95	本人
下大股遠藤	光英	64	ヨシコ
小松小松	琴子	87	本人

とびだせちびっ子



208

◇このコーナーでは、町内のかわいい1歳児をご紹介します

『お母さんから
「たぐさんの笑顔でみんなを
幸せにしてくれてありがとう」』



ことみ
千葉詩心ちゃん(女)
(一司さん・実樹さん:大崎)

()内は保護者名:地区名

町民の動き ()内は前月比 平成27年11月末日現在

人口 5,921人 (2)
男 2,877人 (-3)
女 3,044人 (5)
世帯数 2,256世帯 (10)

1月の休日当番医

気仙医師会

診療時間...9:00~17:00

日	医療機関名	地区	電話番号
1日(金)	広田診療所	広田	56-2515
2日(土)	菊池医院	大船渡	21-1620
3日(日)	飯塚眼科医院	盛	21-3011
10日(日)	えんどう消化器科内科クリニック	猪川	21-1555
11日(月)	滝田医院	末崎	29-3108
17日(日)	松原クリニック	高田	53-1721
24日(日)	いとう耳鼻咽喉科クリニック	猪川	21-1333
31日(日)	吉浜診療所	三陸	45-2007

気仙歯科医師会

診療時間...9:00~12:00

日	医療機関名	地区	電話番号
1日(金)	広田歯科医院	米崎	47-3393
2日(土)	横沢歯科医院	世田米	46-3050
3日(日)	きかわだ歯科クリニック	小友	57-1188
10日(日)	細川歯科医院	大船渡	27-4158
11日(月)	たかた歯科医院	矢作	55-5011
17日(日)	橋爪歯科医院	大船渡	27-8282
24日(日)	峰岸歯科医院	大船渡	27-5535
31日(日)	大船渡市国保歯科診療所	三陸	42-3228

交通安全情報 11月末日現在 ()内は年累計

人身事故 0件 (7件)
物損事故 5件 (108件)
飲酒運転検挙者 0人 (0人)
『外出は 明るい笑顔と 反射材』

▽先日、マイナンバーの通知カードが届きました。お知らせの通り、マイナンバーカードの交付は、顔写真の提出が必須です。顔写真の提出は、申請を考えたとき、一生使う顔写真になると思うので、「まず、痩せない」と、「あ、髪切らない」と、「邪念がちらほら」と、個人番号カード取得に向けて、個人番号カードの取得に努めます。来年は心身(主に体型)を来



にしようと、顔写真の提出は、個人番号カードの交付に必須です。顔写真の提出は、申請を考えたとき、一生使う顔写真になると思うので、「まず、痩せない」と、「あ、髪切らない」と、「邪念がちらほら」と、個人番号カード取得に向けて、個人番号カードの取得に努めます。来年は心身(主に体型)を来

□発行 住田町

□〒029-2396

岩手県気仙郡住田町世田米字川向88番地1

☎0192-46-2111(代) FAX0192-46-3515

□ URL <http://www.town.sumita.iwate.jp/>

□ E-Mail webad@town.sumita.iwate.jp

広報すみた 平成27年12月25日 (16)

